

カボチャ目揃え会

7月27日(月)、カボチャの目揃え会が青果物南流通センターで開かれました。生産者ら約30名が参加し、他産地の販売情勢や出荷規格、収穫期の管理方法について学びました。

秋田地区営農センターの担当職員は「今年は雨が多かったため、収穫後の乾燥をしっかりと行うことが重要。見た目は乾いているように見えても下部に水が溜まって玉腐れが起こる場合があるため、念入りに乾燥作業をしてほしい」と呼び掛けました。

生産者は実際にカボチャを手に取り、表面の傷や果梗の切り口の状態などを見ながら、栽培管理や等級基準について意見を交わしました。

カボチャの果梗の状態を確認する生産者



窓口担当者がコンプライアンスの重要性を再確認

7月28日(火)、J A秋田なまはげ会館で窓口担当者会議が行われ、各支店から金融窓口を担当する職員が参加しました。

適切かつ迅速に窓口業務を行うため、ローンの受付対応や今年度からの事務手続きの変更点などを確認しました。

コンプライアンス(法令等遵守)に関する研修も行われ、不祥事の発生状況の推移データを見ながら、コンプライアンスを意識することの重要性を学びました。参加職員は利用者から大切なお金を預かる窓口として、社会規範を守りながら業務に励む意識を強めました。

J Aではこれからも、研修などを通して職員への意識啓発を行っていきます。

適切な業務遂行への意識を高めました



NEWS & TOPICS

秋田市へ枝豆・メロンを贈呈



7月30日(木)、当J Aが秋田市役所を表敬訪問し、管内産の枝豆とメロンを贈呈しました。今年度における農産物の生育状況を報告し、管内農業の生産振興について意見を交わしました。

加藤貞吉専務や佐藤広美常務らが秋田市役所を訪れ、穂積志秋田市長に枝豆「神風香」とメロン「秋田美人」を手渡しました。穂積市長はその場で枝豆を試食し、「枝豆の出荷開始を心待ちにしていた。今年のエダマメもおいしく、香りもしっかりしている」と今年の出来を確認しました。

農業法人による新規品目の作付けや基盤整備事業など、農業振興に関する情報を交換したほか、新型コロナウィルスによる農産物の出荷や秋田県種苗交換会への影響なども話題になりました。

- 1 … エダマメを受け取る穂積市長(中央)
- 2 … 今年の枝豆の出来を確認しました
- 3 … 秋田市河辺産の枝豆「神風香」

